

MIRACLE ZBX インストール手順

1. インストール

MIRACLE ZBX は、CentOS 6 用に yum リポジトリが提供されていますので、以下のように yum リポジトリからインストールを行います。

```
# rpm --import http://ftp.miraclelinux.com/zbx/RPM-GPG-KEY-MIRACLE
# rpm -ihv http://ftp.miraclelinux.com/zbx/2.0/miracle-zbx-release-2.0-2.noarch.rpm
# yum install zabbix-server zabbix-server-mysql zabbix-web zabbix-web-mysql zabbix-agent
```

データベースに PostgreSQL を使う場合や、MIRACLE ZBX 1.8 をインストールしたい場合など、詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.miraclelinux.com/product-service/zabbix/oss> (短縮 URL: <http://goo.gl/eRnHNY>)

【注意】 コミュニティ版 Zabbix は以下のようにインストールできます。

```
# rpm -ivh
http://repo.zabbix.com/zabbix/2.0/rhel/6/x86_64/zabbix-release-2.0-1.el6.noarch.rpm
# yum install zabbix-server-mysql zabbix-web zabbix-web-japanese zabbix-web-mysql
zabbix-agent
```

2. MySQL の設定

(1) /etc/my.cnf の設定

/etc/my.cnf を開き、[mysqld] セクションに、下記の内容を記述します。

innodb_buffer_pool_size、innodb_log_file_size、innodb_log_files_in_group はハードウェア環境に合わせて設定して下さい。以下で設定している値は参考値になります。

```
[mysqld]
# (途中省略)

default-character-set=utf8 # MySQL5.1 までの場合
character-set-server=utf8 # MySQL5.5 以上の場合
skip-character-set-client-handshake

innodb_file_per_table
innodb_buffer_pool_size=32M
innodb_log_file_size=8M
innodb_log_files_in_group=2
```

(2) データベースの作成

まずは MySQL のサービスを開始しましょう。

```
service mysqld start
```

データベース "zabbix" 及びユーザー "zabbix" を作成します。今回はパスワードは "zbxdbpass" にしています。

```
# mysql -u root
mysql> CREATE DATABASE zabbix;
mysql> GRANT ALL PRIVILEGES ON zabbix.* TO zabbix@localhost IDENTIFIED BY "zbxdbpass";
```

(3) 初期データの流し込み

SQL ダンプファイルを "zabbix" データベースに流し込みます。

下記の通りの順番で流し込まないと、エラーが発生しますので注意して下さい。

```
# mysql -u root zabbix < /usr/share/doc/zabbix-server-mysql-X.X.X/mysql/schema.sql
# mysql -u root zabbix < /usr/share/doc/zabbix-server-mysql-X.X.X/mysql/images.sql
# mysql -u root zabbix < /usr/share/doc/zabbix-server-mysql-X.X.X/mysql/data.sql
```

【注意】コミュニティ版の場合、schema.sql、images.sql、data.sql が含まれているディレクトリ名が異なり、/usr/share/doc/zabbix-server-mysql-X.X.X/create 以下に含まれています。

3. MIRACLE ZBX Server の設定

(1) Zabbix Server の設定

/etc/zabbix/zabbix_server.conf 内の下記のパラメーターを修正して下さい。

```
DBName=zabbix # DB 名
DBUser=zabbix # DB ユーザー名
DBPassword=zbxdbpass # DB パスワード
```

zabbix_server.conf のオーナーとパーミッションを変更します。

```
# chown zabbix:zabbix /etc/zabbix/zabbix_server.conf
# chmod 400 /etc/zabbix/zabbix_server.conf
```

【注意】コミュニティ版では、オーナーとパーミッションの変更は不要です。

(2) Zabbix フロントエンドの設定

フロントエンドの Apache 設定ファイルは /etc/httpd/conf.d/zabbix.conf です。インストール直後は全てコメントアウトされていますので、行頭の # を削除して下さい。但し、行頭に 2 個連続で # が付いているところは、純粋なコメントですので、# は削除しないで下さい。

【注意】コミュニティ版の場合、コメントアウトを外す作業は不要です。一方、タイムゾーンの修正が必要になりますので、zabbix.conf 内の以下の記述の箇所に追記して下さい。

```
# php_value date.timezone Europe/Riga
php_value date.timezone Asia/Tokyo
```

4. サービス起動と chkconfig

必要なサービスを起動し、chkconfig で自動起動するように設定します。

```
service zabbix-server start
service httpd start

chkconfig mysql on
chkconfig zabbix-server on
chkconfig httpd on
```

5. Web UI からの設定

<http://localhost/zabbix> にアクセスし、表示されるインストール画面に従い設定を行います。